



ロータリーに輝きを

FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321

事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040

E-mail:club1991@fujieda-rotary.org

会長：伊藤 彰彦 副会長：内山 淑夫 幹事：渡邊 芳隆 副幹事：竹田 敏和

第1133回



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング 君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー 平原 望君

■ 会長報告

伊藤 彰彦君

みなさん、こんにちは。昨日は新入会員の研修会に参加して下さった研修小委員長の富澤さんはじめ講師の皆さんありがとうございました。



うございました。久しぶりの研修会でしたが、大変自由な雰囲気の中、新入会員の皆さんと、会長経験者の講師の皆さんとがゆっくりとロータリー活動について話ができて、有意義な会になったのではなかったかと思います。新入会員の皆さんは、昨日の研修で新たな交流もできたと思いますので、今後のロータリー活動に生かして行ってください。

さて、話は変わりますが、今年のゴールデンウィークは天候にも恵まれ、皆さんはどちらか行ってこられましたか？私は、5月2日に浜名湖へ潮干狩りに家族で行って来ました。この時期は丁度大潮の時期でもあり、事前にテレビなどで今年はかなりたくさんの貝が取れると聞いていたので張り切っていったのですが、いつもアサリを採る場所は、船で渡らずお金のかからないところに行っていたため、大きく期待を裏切ってくれました。つまり、報道で盛んに取り上げていたのは、船の渡しを使っていくところだけで、事前に業者が海に巻いたであろうアサリが採れるということのようで、決して浜名湖のアサリの量が増えたとは言いがたいのが現実でした。高速の代金とガソリン代を貝の購入に充てたなら、さぞかし多くの貝が食べられたことだろうとがっかりしました。しかも、翌3日は

朝から庭の草取りをしてお昼頃につかれたので立ち上がろうとした瞬間にぎっくり腰をしてしまい、以降6日まで腰痛の為ほとんどベッドで寝ているか整体に通うかしているだけでした。おかげで、家族からはブーイングを浴びたゴールデンウィークとなってしまいました。

本日は理事会があり後ほど幹事より報告がありますが、今季をもって会員の池ヶ谷和正君が焼津ロータリークラブへ移籍をしたいとの申し出がありましたので理事の皆さんにご説明し、気持ちよく彼の希望に沿うよう送り出してやることをご承認いただきました。今後も時にはうちのクラブにメークアップしてくれるということですから今まで同様彼とのお付き合いをよろしくお願いいたします。そして、桑原君が、新たな会員を紹介してくれました。改めて皆さんの元に新会員のデータを一覧させていただきますのでよろしくお願いいたします。

簡単ですが、本日はこのあと記念日のお祝いなどのセレモニーがありますので、以上をもって会長挨拶とさせていただきます。

■ 理事会報告

渡邊 芳隆君

- ・6月プログラムについて承認されました。
- ・2015-2016年度収支予算書とプログラムについて25周年記念の予算を再検討
11/6(金)の例会→11/5(木)に変更
他は承認されました。
- ・池谷和正君の焼津RCへ移籍について
新年度(7/1)より移籍で承認されました。
- ・新入会員について
成田山 新護寺住職 鈴木照寛(スズキ ショウキョウ)さんが新年度より入会で承認されました。

- ・最終夜間例会について
藪崎 茂さんの生演奏によるセレモニーが承認されました。
- ・その他 シンフォニエッタのチラシの全会員配布が承認されました。

■ 幹事報告 渡邊 芳隆君

- ・第2620地区より
- ・The rotarian が届いております。

■ 出席報告 富澤 賢一君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
37/45 82.22%	42/45 93.33%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○池ヶ谷君 ○稲葉君 ○早川君 池谷君
江崎君 川口君 佐野裕君 藪崎君

■ スマイルBOX 富澤 賢一君

- ・結婚記念日プレゼント有り難うございました。
満39年が経ちました。来年は40周年になるので、パーティーを計画しています。
村松 章隆君
- ・結婚記念日プレゼントありがとうございました。
小山 明良君
- ・1年1年スケベな階段を上り続け、私も74才になりました。まだまだ現役です。
多々良 睦生君

スマイル累計額 508,150円

■ 会員卓話

高杉 光洋君



「トリックスター」についての考察
その在りようと役割、危険性に付いて
トリックスターというのは神話や物語に出てくる「イタズラもの」のこと
変なことを言ったりして物語そのものを引っ掻き回すような役割

海外の童話なら「長靴を履いたネコ」とか日本の昔話なら「きつちよむさん」とか・・・
これは「役割」なんです。
トリックスターと言う役割は世界中の物語で見つけることができる。

一般常識ではおかしい存在、しかしそういった行為によって物語をひっくり返す力を持っている、それによってしばしば英雄のように扱われることも・・・

これに類似することは日常でも起こりうる「王様は裸だ」と無邪気に叫ぶような人ってたまにあるでしょう。

本人はトリックスターになろうとは考えてもいないのに一言で空気が一転してしまうような・・・これは良い方向に向くときとその真逆になる可能性を秘めている。

ユングの考察では原型ということ考えた「原型⇒アーキタイプ」

ユングは「集合無意識」と言う言葉を作った人、それは無意識なんだけど個人の無意識では無く不特定多数の共通した無意識のこと・・・

原型というのはそんなに沢山は無くその中の一つに「トリックスター原型」というのがある。
誰もがトリックスターになりうる

「人間万事塞翁が馬」みたいなことってそれぞれの関係性が偶発的であるのに接点のユニークさによってガラッと運命が変わって行くような変化を指して「幸福とは予測が付かない」みたいなこと。

バランスって崩れてみて初めて「バランスを崩した」と人は気付く。

鈴木 健夫君



数年前より、土曜日の早朝浜松まで車で通っています。昼間は一時間半程かかりますが、土曜の朝は一時間で着いてしまいます。冬はまだ真っ暗で、季節の移ろいも感じられて非常に楽しいです。

最初は、CDを車に持ち込み、聞いたりしていましたが、ラジオ番組で面白いものを見つけました。当初はオンザウェイジャーナルウィークエンド、最近番組名が変わって、サードプレイスになりました。

アメリカの社会学者 レイ・オルデンバーグ は、『ザ・グレート・グッド・プレイス』という著書でサード・プレイスの重要性を論じています。ファースト・プレイスは自宅で生活を営む場所・家、セカンド・プレイスは職場・学校、そしてサード・プレイス。そこは、人が家庭や職場・学校での役割から開放され、一個人としてくつろげる場所ということで、現代社会において益々重要になってくる場所のようです。仕事には、全く関係なく、家庭で話しても、家族に全く興味を示していただけない内容が多いのですが、どこかで話したくなる話だったので、本日、この貴重なお時間をお借りして、話をさせていただきます。

4月7日神奈川県横須賀で1400人以上が集まったアンジンサミットが行われた。

関ヶ原の戦いの五か月程前、大分県臼杵市にオランダ船リーフデ号が漂着したそうです。大航海時代はスペイン・ポルトガルが先行していました。後を追っかけたオランダは、新しい航路を探ろうと、5隻の船でスタートしましたが、1隻しかたどり着かなかったそうです。しかも110人乗っていた人のうち最後まで生きてたどり着いたのは6人か7人という悲惨な航海でした。

そのうちの二人がウィリアムアダムス、日本名を三浦按針 東京駅の八重洲口の由来となったヤンヨーステン、彼もこの三浦按針と同じ船で日本にきました。

三浦按針は徳川家康の外交アドバイザーになりました。

この人の歴史を調べますと、その時代の日本の指導者である、徳川家康の視界の広さ、懐の深さを感じざるを得ません。リーフデ号が大分に流れ着いて、三浦按針達は大阪に回航されて徳川家康と面談することになります。当時家康は豊臣政権の大老として大阪城西の丸にいました。5か月後に関ヶ原の戦いが迫っているという切迫した状況のなかで三浦按針達と対面しました。

通訳として、スペイン・ポルトガルのイエズス会の宣教師がつれてこられました。

スペイン・ポルトガルにしたら、オランダが新たに日本に参入してくることを非常に警戒していましたし、嫌がっていましたから通訳達は散々悪

口をいいました。三浦按針達は海賊だ、危険だ、早く殺しちゃったほうがいい。というアドバイスを盛んにします。

しかし、家康は「待てよ」と、よく話をきいてみようということで真剣に話を聞きました。

そこで、家康のすごさはここで気が付いたんです。ヨーロッパは一枚岩ではない、先行しているスペイン・ポルトガルに対して新興勢力としてオランダやイギリスが台頭してきている、さらには、キリスト教も一枚岩ではないプロテスタントというカソリックとは違う一群の人達がいるってことに。そのことに気づいて、殺すどころか外交顧問として、三浦按針を引き付けて、浦賀に回航させてやがて、浦賀を起点にして交易の拠点にしました。やがて江戸幕府は鎖国しますが家康自身はアジアとの貿易を非常に重要視していました。三浦按針は御朱印船貿易のいわゆるフロントラインにいて今のタイ・ベトナムまで行っています。家康の懐の深さ、なぜ浦賀に貿易起点を作ろうとしたか。

それがやがてペリーが浦賀にやってくるという伏線にもなっていますが自分達が攻め滅ぼした北条水軍の基地が浦賀にあった。

北条水軍を今風にいうとテイクオーバーしたということです。家康の力を感じるの自分滅ぼしたところの力のある者は活用していく彼の懐の深さを感じた話でした。

サードプレイス、とても楽しいひと時をこれからも大切にしていきたいと思えます。

■ 新 人 会 員 研 修 会 報 告

2015年(平成27年)5月7日

藤枝南ロータリークラブ

新会員研修小委員長 富澤静雄

新会員研修会の開催

伊藤彰彦会長年度の新会員研修会を5月7日(木)に小杉苑にて開催しました。対象会員10名中9名の参加を得て、別記の先輩ロータリーメンバーとの「意見交換会」と銘打つての会合は大変意義あるものでした。近年入会したロータリーアンの「入会しての感想・提言・要望」等を一人一人発言していただき、それに応えるように先輩からの助言や意見が出されました。さらに25年の歴史に纏わる思い出話に花を咲かせ大いに盛り上がりました。

◆司会：高杉会員

本日は、先にご案内申し上げた通り、近年入会された皆さんから「入会しての感想」などについてスピーチを頂き、折角の縁を大切にすると同時に今後もロータリーをエンジョイして頂くための、その事業年度の推進の参考になればと考えております。限られた時間ではありますが皆さんにとって有意義な時間と成ることを祈念申し上げます。

◆次第：ア) 委員長挨拶

イ) 会長あいさつ

ウ) 3分間スピーチ (ロータリークラブへ入会しての感想・要望・提言など)

エ) 懇親会

(乾杯：初代幹事 朝比奈潔君)

オ) それぞれの発表に対するの先輩ロータリアンからのコメント

◆出席者

- 富澤静雄君 初代会長 (1991～92年度)
 地区拡大増強小委員長 (1996年度)
 地区広報雑誌小委員長 (2005年度)
 第5分区ガバナー補佐
 (2007年～08年度)
- 朝比奈潔君 初代幹事
 第10代会長
 次期ガバナー補佐予定者
 (2016年～17年度)
- 高杉光洋君 第13代会長
 第5分区ガバナー補佐事務局長
 (2007～08年度)

若林秀典君 第20代会長

梅島純夫君 鈴木健夫君

伊藤彰彦君 第24代会長

鈴木寿幸君 平原 望君

内山淑夫君 第25代会長

望月 誠君 中山恵喜君

渡邊芳隆君 第24代幹事

富澤賢一君 中村博史君

竹田敏夫君 第25代幹事

杉浦 聡君

5月のお祝い
おめでとうございます!



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
5/15(金) 第1134回	外部卓話⑥	
5/22(金) 第1135回	創立記念夜間例会	
5/29(金) 第1136回	次年度会長・幹事 方針説明	
6/5(金) 第1137回	会員卓話②⑤	

(担当/漆畑君)